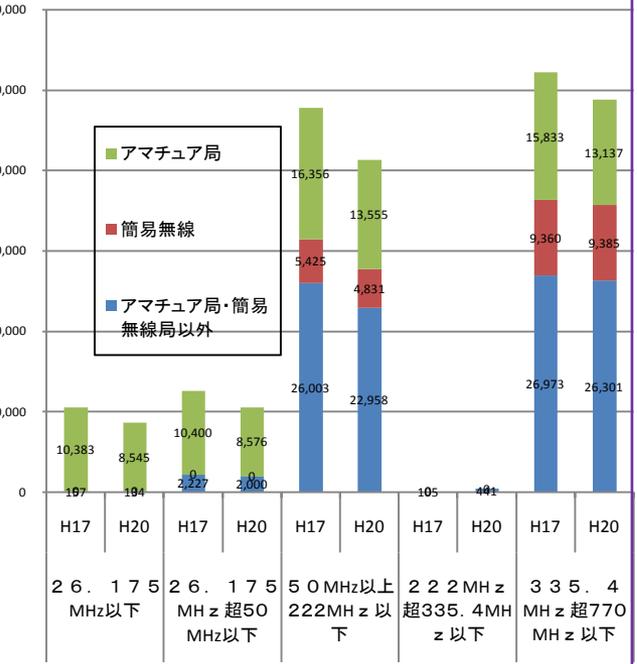


北陸管内の現状と推移【770MHz以下】

770MHz以下の周波数は、多種多様な無線システムに利用されるとともに、周波数区分によって使用条件が異なっており、一概に周波数区分ごとの利用状況を比較すること難しいが、各周波数区分とも全体としては適切に利用されていると評価できる。

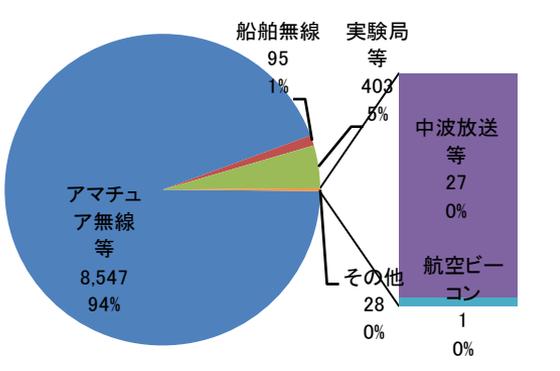
調査対象周波数帯の平成17年度と平成20年度の無線局数を比較すると、アマチュア局は大きく減少しているが、アマチュア局を除くと横ばいの状況。

地上TVのデジタル化が進展中



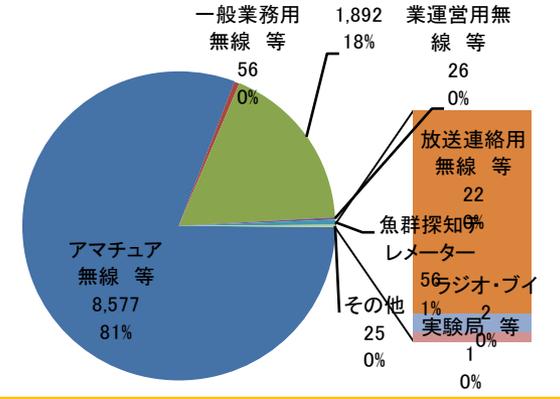
26.175MHz以下

中波・短波放送、航空・船舶通信等に利用されており、利用状況に変化はない。全体的に無線局は減少傾向。



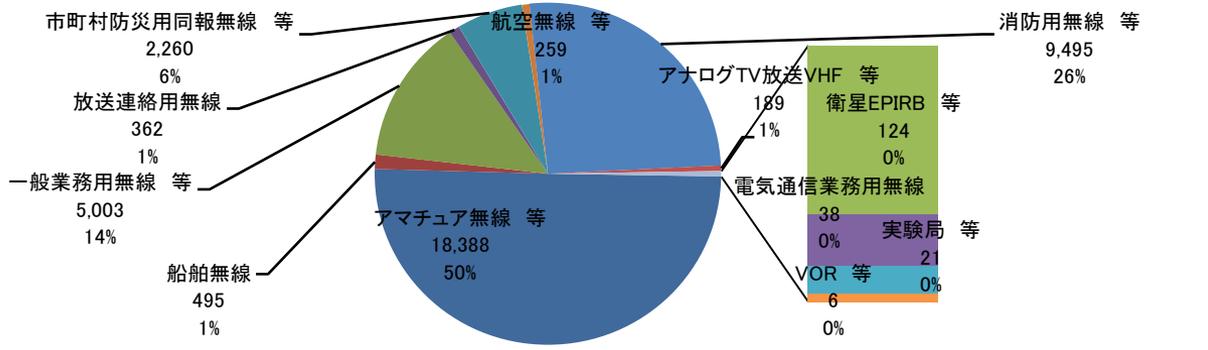
26.175MHz超50MHz以下

船舶通信等に利用されており、利用状況に変化はない。全体的に無線局は減少傾向。



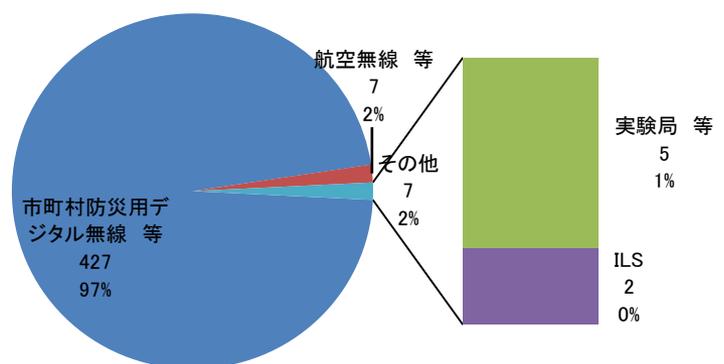
50MHz超222MHz以下

消防・防災無線、公共分野の自営無線、航空・船舶通信、TV・FM放送等に利用されており、150MHz帯を利用する消防・防災無線を260MHz帯へ移行する再編を実施中。このため、全体的な無線局数は減少傾向。



222MHz超335.4MHz以下

消防・防災無線、航空通信等に利用されており、150MHz帯を利用する消防・防災無線を260MHz帯へ移行する再編を実施中。このため、全体的な無線局数は増加傾向。



335.4MHz超770MHz以下

消防・防災無線、公共分野の自営無線、航空・船舶通信、TV放送、簡易無線、タクシー無線等ににおいてデジタル化を促進中。簡易無線は、横ばいであり、全体的に無線局数はやや減少傾向。

